

平成20年度 第3回社会教育委員の会議 会議録

- 1 開催日時 平成21年2月5日(木)  
午後2時00分～午後4時15分
- 2 開催場所 宇都宮市役所 14A会議室
- 3 出席委員 11名  
廣瀬委員長, 工藤副委員長, 江面委員, 櫛淵委員,  
山野井委員, 若度委員, 郷間委員, 松江委員,  
吉野委員, 石原委員, 中島委員
- 4 会議の公開・非公開の別 公開
- 5 傍聴者 0名
- 6 議 事
  - (1) 報告事項
    - ①平成21年宇都宮市成人式の結果について
    - ②第2次宇都宮市子ども読書活動推進計画(素案)に関するパブリックコメントについて
    - ③学校支援地域本部事業の取組状況について
    - ④親学出前講座推進状況について
    - ⑤地域教育力向上フォーラムの実施状況について
    - ⑥宮っ子ステーション事業の実施状況について
    - ⑦教育委員会所管文化2財団((財)うつのみや文化の森, (財)宇都宮市文化会館管理公社)の統合について
  - (2) 協議事項
    - ①平成21年度社会教育関係団体に対する補助について
    - ②平成21年度社会教育の方針及び重点施策について
    - ③平成21年度文化行政の方針及び重点施策について
- 7 その他
- 8 閉会
- 9 発言の要旨

廣瀬委員長

それでは、会議次第に基づき、本日の議事を進めてまいります。本日は報告事項が7件、協議事項が3件と多くの議事がございます。最初に報告事項の①「平成21年宇都宮市成人式の結果について」を、事務局から説明をお願いします。

事務局

【事務局報告】

廣瀬委員長

ありがとうございました。ただ今の説明について、ご質問やご意見はございませんか。

櫛淵委員

私ども市婦連は、先日、定例会がございました。その席で成人式に参加協力した会員の意見を聞きまして、「騒々しい」という声が一番先に上がりました。それと、会場によっては司会者が見えないようなところに来賓席があったり、端の方であったり席の設置の仕方に問題があったようです。それと、ある地域の会長は、「あまりにも静かなで物足りなかった」という意見もございました。私は、午前、午後と二つの会場に出席しましたが、どちらの会場とも、騒々しかったです。あれで成人者か、市長のビデオを観られたのだろうか。そんなご意見がありました。以上です。

廣瀬委員長

ありがとうございました。年度によっては多少静かだったり、騒がしかったりするようですが、その関係で委員の皆様で成人式に出席された方、どなたかご報告いただけないでしょうか。

郷間委員

私は、今の中学校区の成人式に出席して5回目になります。去年まではよろしいと思っていたのですが、今年はとても騒がしかったです。だいたいクラス別になっているのですが、一堂に集まるということで、これで式典後の懇談会がきるのか心配していたのですが、騒ぎすぎて疲れて静かだったという事を聞きました。

廣瀬委員長

今年は全体的に少し元気のいい年度だったようで、ほかの区域に行ってきた方で報告ございませんか。

江面委員

私は、午前と午後の会場に出席しましたが割と違いました。午前中の場合には大人しいと言いますか、紋付袴は男子約50名の中で2人だったと思いましたが静かに聴いていました。拍手もありませんでした。ところが、午後の会場では、紋付袴の男子が20名ほど一番前列におりまして、市議会議員の挨拶があったのですが、拍手があり、すごい盛り上がりがありました。盛り上げ方が上手で、自分たちで祝っている様子にびっくりしました。その会場に出席された教育委員長さんとお話ししましたが、最初は異様な雰囲気になるのかなと心配しておりましたが心安心いたしました。地区によって違うと思います。

若度委員

私のところは、教育長がいらして、お話ししましたが、去年とほぼ同じでそれほど騒がしくも無くあんなものなのかという感じでした。私が、同じ中学校区で15、6年前に出席したころはすごく騒がしかったです。その

ころは体育館を会場にして大勢でやっておりました。成人式は、たまに会った者同士が話しをするのでざわつきますが、ある程度はしかたのないことだと思えます。

松江委員

私の出席した会場では、やんちゃな子もおりましたが、概ねいい式典だったと思います。服装は、羽織袴や洋装の派手な格好とか、女の方でも振袖でサングラスを式典の間中ははずさない子がいましたが、概ね良かったと思います。

うちは市長がいらして、ご挨拶いただいたときに、そのやんちゃな子の一人を壇上に呼び注意をされました。市長は「あと15分、我慢しろ」と言われましたが、案外その後は落ちついて聞いてくれました。そんな市長の配慮もありまして、後輩の吹奏楽部の子達が音楽を流すと、後輩も見ているという意識があるのか、ちゃんとしなきゃという気になったように思えます。

それから、私どものところは市長がお話してくださったので、市長のメッセージビデオを流さなかったのですが、別の会場の方から、広い会場だと後ろのほうはビデオが全然見えないので、出来ればモニターを数箇所配置するとか、そういう配慮があればいいという声を聞きました。

廣瀬委員長

会場設営の問題については、事務局で再度検討していただければと思います。後輩が見ているというのもいいことだと思えます。これが、小さな農村で、近所の方々から小学生までみんなで準備をするというところでは、騒がしいということはありません。こういう都市型の成人式は、ホテルや結婚式場でやりますから、自分達だけの楽しみという傾向が強くなります。本来は地域で地元の人たちがやるのが成人式です。本来の社会教育のあるべき姿ですが、都市では少し難しいのではと思いますが、いずれにしても成人式の運営については、こんなに税金をかけて良いのかという議論もあり、今年度につきましても市長のビデオメッセージを含めて、大きな社会教育の機会として捉えて、今後も続けていくべき事業であると私も思いました。様々な課題につきましては、今後も事務局のほうで検討していただければよいと思います。

それでは次に、報告事項の②「第2次宇都宮子ども読書活動推進計画(素案)に関するパブリックコメント」について、事務局から説明をお願いします。

事務局

【事務局報告】

廣瀬委員長

ありがとうございました。ただいまの説明につきまして、ご意見やご質問があればお願いします。

山野井委員

パブリックコメントの方にもありましたが、司書嘱託員の役割はすごく

重要であると思います。この資料にも書いてありますし、司書の位置付け、司書の研修の問題が出ており、司書の配置は、非常に効果的であるという感じがします。現在常勤でなく先だつて申し上げたように勤務時間が午後の3時に終わってしまうという問題ですが、一日勤務できるような勤務条件になると良いと思います。非常に難しい問題ですが、そうなればありがたいと思います。

それからもう一つ、この司書嘱託員と他の先生方との関係の問題です。図書館で子どもたちが一生懸命、昼休み等に読書をしている姿が見られますが、難しいと思いますが教科ごとの連携が図れないものかと思います。教科指導との連携を何とか図れば、読書の幅が広がってくるのかなという感じが致します。

見ていると、司書も一生懸命やっているのですが、場合によると、孤立をしている場面が無きにしもあらず。その辺のところは、学校によって違い、司書の性格、司書の進め方によっても大分違いがあるのかもしれませんが、若干、そんな感じを受けました。これは私の感想です。

廣瀬委員長

ありがとうございます。ご指摘の通りだと思います。私も同じところが気になっていました。貴重なご意見をありがとうございます。どんなに立派な計画を作成しても、人と金が配置されないのであれば無意味ですから、ご指摘、誠にその通りだと思います。学校と先生と司書の方の連携につきまして、何か報告いただけることありますか。

江面委員

司書に熱意があれば、教科担任に関連があるような本があることを呼びかけてくるのですが、教科担任のほうであまりにも忙しいこと、自分の指導法で、利用しないというのが大半でして、利用する先生も限定されてしまう。ここで一つの挫折があるのだと思います。それで、司書嘱託員と連携しようとする先生とは非常にうまくいっていますから、そういう先生が多ければ孤立しないで、司書が活動しやすいのではないかと思います。幸い、私の学校では、指導教員がいます、その方が先生方と司書嘱託員との間を取り持ってくれています。つまり、コーディネーター的な人が必要なのです。図書館教育をやっている市内の中学校でもそういう壁があって、校長が改善をしたり、指導教員等が改善を推進しております。

工藤委員

読書量が今「数量」と表示されています。先ほどのことに関連してなのですが、学科といいますか、図書の分野と言いますか、読書の中身は、どういう形で把握されているのでしょうか。

事務局

内容につきましては、読書調査をしているところです。どのような本が貸し出されているか記録も取っております。それらの中で分類を調べていくと、今のところ9類・文学という分野が多く借りられています。そのほ

かの哲学・社会・自然科学などいろいろな分野の本がありますが、それらについてはあまり借りられていない状況なので、今回の計画では質を高めるといふ部分で、ほかの分野の本にも手を伸ばせるように、学校の方でも指導していけるようにと考えているところでございます。

江面委員

学校の方では総合的な学習という時間がありますので、調べ学習に関わるものをたくさん購入しております。環境の問題に関わるものがたくさんそろったり、あるいは平和教育関係がそろったり、その学校によって違いますが、その教科で活用するものを中心にそろえているのが現状です。

廣瀬委員長

その他、ご意見はございませんか。

松江委員

資料にあります中学生の不読率が0%とは、すごい数字で、素晴らしいことだと思います。冊数だけでなく読書の質を高めるといふことは、確かに重要なことだと思います。携帯小説について以前、申し上げたことがありましたが、やはり本当に玉石混淆と言いますか、玉はあまり多くはないと思います。他に、子どもたちのゲームを小説化したものであるとか、一応、本の体裁をとってはいるのですが、内容には乏しく、かなり残酷な描写が目立ったりしているものがあります。そのような本が本屋さんにも並んでいて、特に小中学生の男の子には人気があるようです。女の子の恋愛関係についての本とか、軽く読める本とかそういうところから本の世界に入るということもありますが、例えば芥川龍之介の本ですとか、世界文学全集にあるような本について案外知らない子が多いので、昔から名作と謳われているような本を、一つの教養として読んでおいて欲しいという気もしますし、何とか紹介していきたいと思います。私は図書館で読み聞かせボランティアをしておりますが、子ども達が案外、文学以外の自然科学の本とか、そういうものにすごく興味を持っていることに気づきました。写真を使って、雪の結晶を色々写してあるものとか、人間の体の仕組みのこととか、動物のことなどかなり興味があるようです。また、文字や物語が苦手な子が中にはいます。そういう子ども達には、そういう本もあるよとアプローチができる司書や先生の力も大きいと思います。

廣瀬委員長

どのような本を購入するのは、司書の専門性で「選書」という行為が行われます。「選書」を司書に任せているから良い本が選ばれて図書館に入ってきます。多分それ自体が、一つの教育作用を持っていますから、図書館が教育機関として位置付けられるのです。司書というのは、学校でいうところの教師です。司書の充実は、一番大きなポイントになるのではないかと思います。他にございませんか。

江面委員

有名な書類の推進ということですが、中学校の方では朝の読書指導とい

う時間があります。そのときに、はじめのころは薄い本を40冊くらい各教室に配り、子どもたちに同じものをそれぞれ一斉に読んでもらいました。それを、半年ぐらい推進しますと子どもたちはあきてまいりました。自然と自分たちが読みたい本を読むという方向になり、非常に難しい所ですが、現在は自由に子どもたちに読ませております。

廣瀬委員長

他にございませんか。よろしいですか。それでは報告事項の③「学校支援地域本部事業の取組状況について」を、事務局から説明をお願いします。

事務局

【事務局報告】

廣瀬委員長

ありがとうございました。学校支援地域本部事業について、何か関わっている委員の方、ご意見、ご質問はありませんか。

全国どこに出しても恥ずかしくない事業・事例もごございます。この事業のコーディネーターも非常に献身的な気がしますし、私もいろいろ関わっています。資料にありますように第5次までの申請で53校が実施することができました。この後の申請になると補助事業になり、市の持ち出しが必要になるとのことです。

また、先ほど説明のありました桃色のチラシの事業は、学校支援事業と市P連の研修事業を合体させていただいているということです。市P連の若度会長には大変ご尽力いただいている、既存の事業をうまく切り替えながら、効果的に取り組んでいただいております。

この件について、特にご質問がなければ次の報告事項に移らせていただきます。それでは、報告事項の④「親学出前講座推進状況について」を、事務局から説明をお願いします。

事務局

【事務局報告】

廣瀬委員長

ありがとうございました。ただいまの説明につきまして、ご意見やご質問があればお願いします。

吉野委員

こういう取組というのは、いつもそうなのですが、参加されている方はいいのです。参加されない方をどのようにして参加させるかが永遠の課題のような気がいたします。学校に親が集まる時期とか、場合によっては、例えば企業のご理解を得て休み時間に実施するとか、何かそういうところまで入り込めるようになれば、もっとより多くの人に話を聞いてもらうことができると思います。時間の長さではないと思います。本当は、学校に来られない方に聞いてもらいたいことがいっぱいあるのではないかと思います。

廣瀬委員長 企業との連携の実績はありますか。

事務局 今、一件だけ投げかけをしております。もう少し、企業と連携しながら親力向上について取り組めないか検討しているところです。

廣瀬委員長 非常に良いアイデアだと思います。他にご質問やご意見はございませんか。よく成果も挙げている事業だと思います。それでは続きまして、報告事項の⑤「地域教育力向上フォーラムの実施状況について」を、事務局から説明をお願いします。

事務局 **【事務局報告】**

廣瀬委員長 ありがとうございます。これも言わば、地域協議会に対する出前講座のようなものです。開催希望もあり、効果も上がっているようです。市職員が厳しい勤務状況の中で、地域を支援しているのが良く分かりました。お疲れ様でした。

それでは、地域教育力向上フォーラムの実施状況については以上とさせていただきます。続いて報告事項の⑥「宮っ子ステーション事業の実施状況について」を、事務局から説明をお願いします。

事務局 **【事務局報告】**

廣瀬委員長 ありがとうございます。この事業に関わっている松江委員から、成果などご報告いただきたいと思います。

松江委員 私は、陽南小学校区で宮っ子ステーション事業の立ち上げのときから関わらせていただいています。私のところにも主任児童員のコーディネーターさんがいまして、その方にかかなりの負担がかかっております。手伝うと言いながらあまり力になっていないところもあり反省しておりますが、その方の活躍に全てがかかっているといっても過言ではないと思います。ボランティアについては地域の回覧板で呼びかけたり、一本釣りといいますか声をかけて増やしたりとか、私たちも努力はしているのですが、やはりもっともっと地域の方に関わっていただきたいのが実感です。

それで、宮っ子ステーションの放課後子ども教室の方ですが、時間が5時までということがありまして、子どもをその時間までに保護者に迎えに来ていただいております。そうすると、お仕事をお持ちの方から参加しにくいという声もいただいております。子どもたちはその時間までいろいろな体験活動ということで、体を使った遊びや昔の遊びなどをしています。私たちは簡単なおやつを出したりしておりますが、かなり好評です。

ただ、安全のことにはかなり気を使っております。自分の子どもの頃

のことを考えますと、こんなに気を使わなければだめなのか、子どもたちだけで秘密基地を作って遊ぶとか、はらっぱで集まるとか、そういう場がどんどん少なくなっていると、この宮っ子ステーションの指導員として関わりつつも考えているところがあります。常に子どもたちを大人が見守るこの事業を否定する発言と取られると申し訳ないのですが、子どもが一人で成長する時間が少なくなっているのではないかと実は考えております。

この資料にあります陽光小学校校区と晃宝小学校校区では、週の開催回数も多く、自然に地域の方とか異年齢がふれあうことが出来るものと思います。これは私たちもうらやましく、目指したいという気になります。

それから、陽南小学校校区の親学出前講座で、携帯の問題について話を聞かせていただいて大変参考になりました。ありがとうございました。

廣瀬委員長

ありがとうございました。他に何かご質問やご意見ございませんか。

松江委員から課題提供がありました。確かに少子化の問題でもあると思いますが、大人が子どもに放課後まで手を掛けすぎているのではないかという意見も無いわけではありません。

山野井委員

私は陽光小学校校区なのですが、魅力ある学校づくり地域協議会に私も妻もかかわっています。同時にうちの孫が2年生と4年生で、放課後子ども教室にも入っています。家中で関わっておりまして、空いた時には5時に孫を迎えに行かなくてはならないし、それと同時にお帰りのボランティアもしなければなりません。読み聞かせもしなくてはならない。いろいろ朝から晩まで、あらゆるところで関わっております。毎日、二人の孫は宮っ子ステーションを楽しみにやっており、家に帰ってきて今日やってきたことを二人で大騒ぎしております、非常にありがたい感じがいたします。

でも、松江委員がおっしゃるとおり、実際に関わっている人たちというのは、ある意味では生きがいを持ってやっています。資料にあるバレーボールは、バレーボールクラブの指導者が一人では対応できませんから、何人かの人に手伝ってもらっています。将棋の場合にも、指導者は一人なのですが一人では出来ないで結局、人を頼んで5、6人の人材を集めて実施しています。妻は英会話をやっておりますが、自分一人では出来ないから音楽の先生やらピアノを弾ける方を頼んで、音楽と一緒に英会話をやっていますがその準備はとても大変です。2時間ぐらいたるために一生懸命パソコンを打ち、時間をかけて準備をして大変ですが、年寄りの、それなりのもすごい生きがいになっています。ですから、地域のおじいちゃん・おばあちゃんとの魅力作り、社会教育にもなっています。この事業は、大人の生きがいにも、子どもたちとの連携にもなっています。ということで、非常に良い交流が出来ているのかなという感じがしています。問題点はあるかもしれませんが、トータル的には非常にいい事業であると思います。



廣瀬委員長

ありがとうございました。お二人のたまたま関係されている方が委員なので、詳細にお話を伺うことが出来ました。では、この件につきましては、以上とさせていただきます。

次に、報告事項の⑦「教育委員会所管文化2財（(財) うつのみや文化の森、(財)宇都宮市文化会館管理公社）の統合について」を、事務局から説明をお願いします。

事務局

【事務局報告】

廣瀬委員長

ありがとうございました。(財) うつのみや文化の森と (財)宇都宮市文化会館管理公社の統合について、ご質問やご意見のある方いらっしゃいますか。なければかなり長時間になってしまいましたので、5分ほど休憩を取ってから協議事項に入りたいと思います。

【休憩】

廣瀬委員長

それでは後半の協議事項に入らせていただきます。協議事項の①「平成21年度社会教育関係団体に対する補助について」を、事務局から説明をいただきますが、ここで補助金に関係する団体の委員の方々に、ご退席をいただきます。よろしくお願いします。

事務局

【関係委員退席後、事務局説明】

廣瀬委員長

ありがとうございました。事務局から説明がありましたが、皆様からご意見をいただきたいと思います。平成21年度は特に第57回全国地域婦人団体研究大会が宇都宮市で開催されますので、その関係の補助金が入っております。その他は例年通りです。いかがでしょうか。それでは事務局の提案した通り、異議が無いということでよろしくお願いします。補助金に関係する団体の委員の方々に入室いただきます。

【関係委員入室】

廣瀬委員長

ただいまの協議によりまして、事務局案通り、補助対象団体として全ての団体が認められました。今後も皆様の活発な活動をご期待申し上げます。どうぞよろしくお願いします。

続きまして協議事項の②「平成21年度社会教育の基本方針及び重点施策について」を、事務局から説明をお願いします。

事務局

【事務局説明】

廣瀬委員長

ありがとうございました。平成21年度社会教育の基本方針及び重点施策について説明いただきました。何かわからない文言等ございましたらご質問いただければと思います。新しい名前のセンターの構想が具体的に検討されるということでございます。

石原委員

資料にあります、重点施策の(4)に「(仮称)地域教育推進センター・家庭教育支援センターの機能整備に向けた」と書いてありますが、これは来年度準備に入るということですか。

事務局

平成21年度に具体的に検討して決定していきたいと思います。内容的には、地域教育推進センターについては、地域教育計画に基づきまして、人づくり・研修機能があるものを考えております。また、家庭教育支援センターにつきましては、親学を推進し家庭教育の拠点になるようなものを考えているところです。具体的には後々検討をしていきたいと思います。

廣瀬委員長

ありがとうございました。その他ございませんか。

松江委員

こういう素晴らしい施策、本当に実現していただきたいと思うのですが、例えば、子ども未来課で進めている青少年の居場所作りの事業がございまして、市内に着々と増えております。例えば、宮っ子ステーション事業と組み合わせることができないものでしょうか。高校生とか若い年齢層と小学生の交流を、その場で図れないものでしょうか。地域の教育力であります自治会連合会やまちづくり協議会が中心になり、いろいろな事業を進めておりますが、そういうところとの連携が図れないものでしょうか。担当課が分かると、せっかく連携できる事業が、潰し合いということではないのですが、ダブってくるようなところがあります。その辺、統合できないか、一緒に力を合わせられないか、と感じるときがあります。こういう施策をこれから進めていただく上で、行政の方の皆様も、連携を取り合って進めていただければありがたいなと感じています。よろしく願いいたします。

廣瀬委員長

松江委員のおっしゃるとおり、特に子ども自身は各課の所管に分かれているわけではございませんし、市民も所管で活動しているわけではないので、むしろ我々のそういう声を反映していただいて、各課が連携といいますか協力をすることの一つの義務として捉えてえていかないといけないと思います。ですから、システムティックに連携出来るように、制度として連携するのだと捉えていただかないと、松江委員の言うような貴重なご意見は反映されません。事務局側で、何とか事業を効果的に進めるといって意味で連携を図っていただきたいと思います。よろしく願いいたします。そのほかございませんか。

中島委員	<p>松江委員がおっしゃったあたり、本日の議事で色々現場の詳しいことを伺って感じたのですが、いろいろな事業がある中で、現場サイドでの活動時間の問題とか、子ども達がどちらに所属するかとか具体的なところはいずれにしましても、行政内の施策の連携ということは非常に大切なことだと思います。是非、重点施策についてもそのあたりをもう一度精査していただきながら進めていただければ、非常にありがたいと思います。</p>
工藤委員	<p>第3図書館の関係ですが、図書館は機能の拡充でありますとか、利用の仕方が変わってきていると伺っています。行政サイドだけでいろいろな立案をしていくのではなく、市民参加で利用者の方々の意見を取り入れて、設計していただきたいと思います。設計段階から意見を聞く機会が必要であると思いますが、その辺はどのように考えているのでしょうか。</p>
事務局	<p>今年度は実施設計、来年度は建築の時期に入っております。平成18年度の基本計画策定時や、平成19年度の基本設計作成時に、市民、地域の方々に意見をいただき、それを一部取り入れております。具体的な図書館の運営面の推進につきましては、ボランティアの活用や市民、地域の方々の意見を聞く機会を設定したいと考えております。</p>
廣瀬委員長	<p>建設サイドの声ではなく、司書サイドの声をもう少し反映して欲しいと思います。どうしても物を建てるときに、建設サイドの声の方が大きくなります。そこを主に使うのは司書あるいは住民です。建設サイド主導でものが進まないように充分配慮していただきたいと思います。</p>
事務局	<p>今、実施設計に取り組んでおります。当初プロフィール方式で、提案形式で企業のほうからの計画をたたき台として、市の職員・司書職員も含めまして、毎月定例的に打合せ会議を開催しております。司書が使いやすい又は利用者にとって使いやすいようなスペースなり、図書の配置であるとかうまく希望を入れていただきながら企業・建築業者と協議している状況です。その辺は一生懸命努力しているところでございます。</p>
廣瀬委員長	<p>ありがとうございました。平成21年度の基本方針は、次期の社会教育委員の方々がまたご審議していくことになると思いますのでこの辺にしたいと思います。続きまして協議事項の③「平成21年度文化行政の方針及び重点施策について」を、事務局から説明をお願いします。</p>
事務局	<p><b>【事務局説明】</b></p>
廣瀬委員長	<p>ありがとうございました。ご意見、ご質問があれば発言していただきたいと思います。いかがでしょうか。</p>

松江委員

百人一首は宇都宮に関わりの深いもので、もっと宣伝して欲しいと思っていたところなので、すごくうれしく感じます。文化遺産の保存のことで、宇都宮市内に大谷石を使った蔵ですとか、商家、古い家ですとか残しておきたい建物があると思います。それらは、個人の方の物ですし、色々な事情がありますから、そこを残しておいてくださいと言っても無理がありますが、古い町並や建物を行政のほうで保存できるように、お力添えをいただけるといいなと感じることがありました。大谷石の建物保存会の方々と一緒に見て歩く機会があり、桜通り近辺の酒屋さんなどを見せていただきました。あの周りはマンションになっており、残しておけなかった建物もありました。お金もかかることですし、個人の持ち主の方のお考えもいろいろあるとは思いますが、例えば、倉敷や金沢の町並みのように、大切に保存していただきたいと思います。

それから、市内の伝説の場と言いますか、文化課の資料に載っています「汗かき阿弥陀」や「おしどり塚」などの伝説や民話の元になるような場所をうまく使って、まちおこしをしていければいいと思っております。

廣瀬委員長

ありがとうございます。事務局からお願いします。

事務局

百人一首についてはPRが課題の一つになっておりまして、今後いろいろと頑張っていきたいと思っています。

大谷石などの建物の保存についてですが、文化財の指定等には一定のハードルがあり、逆に規制が厳しくなるという限界がございます。ただ、景観ですとかそういった側面でも都市計画サイドからのアプローチも多いですし、あるいは芸術的なセンスと申しますか、建築デザインからの着眼でいろいろな団体の取り組みもございます。そちらのほうも、文化財めぐり等で、特徴的な建物をご案内し、大谷石の建造物等の保存や活用を図っていきたいと思っています。

それから伝説、民話につきましては、ホームページ等で紹介はしておりますが、例えばモバイルの中で、今の先進的な機器をうまく使えないかどうか研究したいと思っています。以上です。

廣瀬委員長

ありがとうございました。

松江委員

大谷石だけではなく、木造の建築物もお願いします。

廣瀬委員長

近代化遺産、商家とか民家とか権利関係が複雑であることはもちろん承知はしておりますが、宇都宮の重要な共有物、共有文化遺産だという認識を市民がまず広めていかないと、今、どんどん壊されていきます。何もせず傍観している市民がいると、市民の側から動かないと、行政は動かないと思います。金沢のように、市民が先に動いて流れを作っていくこと

には、この貴重な市内各地に沢山残っている建造物を保存することは出来ないと思います。そういう意味でも、市民意識、市民の全体的な文化意識の向上が必要だろうと思います。

吉野委員

私は伝統文化フェスティバルの方でお手伝いさせていただいております。これは、県の方で「とちぎ食の回廊・食の街道」という構想がございます。実は、その事業の委員をおおせつかつておりまして、来年から具体的に動かしていくという段階になっております。多分これは、宇都宮市にも当然来ているお話ではあると思うのですが、これはどちらかというところ、県の担当しているのが、農村振興課ですので、農業に関したことが中心になってはいるのですが、今のところ手を挙げている団体が、真ん中の宇都宮の部分だけが抜けております。県内で、実際、私が来週お手伝いに行くところも、これは真岡市とか二宮町です。それで、宇都宮って、何も無いのでしょうか。色々な農産物だけの観点を振り払ってはどうかでしょうか。例えば文化祭的なものがいろいろあるなら、文化には食の文化もあります。そうすると、全然違う切り口で、伝統の食とか美術とか、そういうものにつながった回廊もあって良いのではないのかなと思います。大きく考えれば、それも食の回廊ではないのかなと、これは一つ提案してみる価値があるのではないかと思います。どこもやっていないからです。それから、その事業の委員の中には、いろいろな旅行の仕掛け人の方達が一緒に評議委員に入っております。そうすると、これは宇都宮市に観光としての要素があるところを上手く付けていけば、それは全く違った感じのただ、「苺がありますよ。」、ただ、「蕎麦街道ですよ。」というのとまったく違った切り口で、面白い街道が宇都宮市にももしかしたら出来るのかなと思います。やっぱり県都ですから、よそと違うことをやっていただけたらいいなと思います。私は、その事業の委員の立場からも、一人の宇都宮市民としても期待したいと思っています。

廣瀬委員長

なかなか面白いアイデアです。

工藤委員

ただ今のご意見に関連しているとは思いますが、宇都宮市は合併しました。いろいろな伝統文化をいろいろな地域で持っています。ただそれが、大都市であるがゆえに、それぞれの地域に埋没といいますか陥没してしまっております。まだまだ水面下に沈んでおり、そのことを、どう市として市民の方々に知らしめていくのか、これまで不十分だったという気がします。地方によっては、自分の町で持っている伝統文化を、だいたい決まっていますから、何月何日と場所をスケジュールにして教えたりしております。我々は、よく地元新聞を見て「ああ、終わったね。」と、行事が終わってから確認しております。年間スケジュールのようなものを市の中心部ばかりではなく、地域でやっている伝統文化を行政が紹介してあげるという

作業が必要だと思います。本市にはいろいろな文化的な財産があるのにもったいないと思います。以上です。

石原委員

宇都宮市の美術館は森の中で、とても素敵な美術館だと思います。去年、藤田嗣治展・全国巡回展が宇都宮市美術館で長期間開催されておりました。私も観に行きましたが、静かにゆったりと観られて良いと思いました。そしてその後、たまたま上野に行ったら、丁度、上野の森美術館で同じ展覧会が開催されておりました。一回は観ましたが、もう一回観てみようと思ったのですが、大混雑で落ち着いて見られませんでした。宇都宮市の美術館は、あれだけ立派な施設があっても、知られていないのではないかなと思いました。文化の森も含めてとても素晴らしい場所ですから、県内だけでなく広く県外にもアピールできる場所ではないのかと、同じ展覧会を違う場所で見ました。それと、ああいった大きな企画展をもっとどんどんなさんと更に良いのではとないかと思いました。

廣瀬委員長

ありがとうございました。2年間ずっと議論してきたのですが、今の話から一貫した皆さまの発言は、地元の文化をもう一回見直そう、あるいは再発見しようというものでした。この文化行政の基本方針と生涯学習課の地域教育推進計画とを、もう少しオーバーラップさせながら、進めていくことが出来るのではないのでしょうか。地域教育というのは、各地域で地元の資源を大事にしたり、発見したり、築いたり、守っていったりということが中心になってまいります。むしろ文化行政と大きく重なり合います。地域教育は生涯学習課のものと考えずに、共有物だと捉えていただければ、むしろ、文化行政がコストを掛けずに文化財を保存出来ると、あるいは地域の文化を保存継承できるということにつながるのではないかと私は思いますので、是非、地元や地域ということにこだわった教育をこれからもしていければ良いのではないのかと思っています。平成21年度文化行政の基本方針及び重点施策については、これで終了にしますがいかがでしょうか。

そのほか何かございませんか。無いようですので、以上で社会教育委員の会議を終了させていただきます。